

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	一般教養A2	
科目基礎情報					
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時限数	15時限
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回、練習問題を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	寺嶋 陽子		実務経験の有無・職種	有・海外での舞台スタッフ	
学習目的					
本授業は、旅行会話を中心に学ぶ。文法にとらわれすぎず、実際に動いて英語を発することにより体で覚えることを大切にする。1年を通して、間違ふことや英語を話すことに恥ずかしさを感じずに自由に英語を発することができることを目標とする。 また、舞台裏の用語も取り入れ、ウエストエンド・ブロードウェイのミュージカル、更に海外のオペラ作品に触れることによって海外の舞台芸術の素晴らしさを感じることにによって、視野を広げることにつなげたい。					
到達目標					
ウォーミングアップの工夫、グループワークを通して新しいことを発見し、導入から楽しく授業に取り組めるようにする。 学生が興味を持つような映像、音楽も多く取り入れる。 こちらから全ての英単語を教えるのではなく、考える、調べる、相談する ⇒ 発表・実践することを通し、動いて楽しんで覚える参加型授業を中心に行う。					
教育方法等					
授業概要	旅行した時に使う英語をロールプレイで覚えられるようにする。入国審査ではパスポートを持って実際に会話をする、買い物ではお金を使ってみるなど小道具を使って授業を体験できるようにする。また、演劇が盛んである海外まで視野を広げるよう、現在のブロードウェイのミュージカル、ウエストエンドの演劇などポピュラーなものを紹介する。				
注意点	繰り返すこと、実際に発音してみることにによって覚えることができることを実感できるように学生を指導していく。授業以外でも、自分の好きな分野のインターネットや画像などを通して、生の英語に触れることにより、視野を広げることができることを常に伝える。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	前期の授業の説明・ゲーム		授業の流れを知る、ゲームで英語を楽しむ		
2回	道に迷う ①		ジブリ映画で学ぶ、聞き取り ⇒ 道に迷った時の英単語を知る		
3回	道に迷う ②		17回の続き、道に迷った時の英語のフレーズを知る		
4回	道に迷う		全2回で学んだフレーズを使う。地図を使ったロールプレイ		
5回	舞台用語		劇場スタッフを英語で言ってみよう ⇒ 自己紹介ができる		
6回	ブロードウェイ情報		最新の海外の演劇を知る・ミュージカルナンバーリスニング		
7回	オペラの紹介		海外の劇場 海外のオペラ作品		
8回	注文の仕方		ファーストフード、レストランなど場所によって違うフレーズを学ぶ		
9回	ファーストフードのロールプレイ		フェイクフードの小道具を使い、店員や客の役割を文体んしてのロールプレイ		
10回	小テスト		復習、小テストを行う		
11回	音楽との合同実習①		海外の劇場内での英会話のロールプレイ チケットの購入、劇場案内、客席でパンフレットの販売など海外の劇場の再現をする 役割分担を決め、フレーズを覚え、話してみる		
12回	音楽との合同実習②		海外の劇場内での英会話のロールプレイ チケットの購入、劇場案内、客席でパンフレットの販売など海外の劇場の再現をする 役割分担を決め、フレーズを覚え、話してみる		
13回	音楽との合同実習③		海外の劇場内での英会話のロールプレイ チケットの購入、劇場案内、客席でパンフレットの販売など海外の劇場の再現をする 役割分担を決め、フレーズを覚え、話してみる		
14回	音楽との合同実習④		海外の劇場内での英会話のロールプレイ チケットの購入、劇場案内、客席でパンフレットの販売など海外の劇場の再現をする 役割分担を決め、フレーズを覚え、話してみる		
15回	まとめ		まとめ・試験対策		